社労士通信

vol.02

社会保険労務士と税理士の連携がライフワーク

クロスフィールズ人財研究所
三浦 修様

Page. 02

HR tech時代の最先端をいく社労士事務所でありたい

有限会社人事・労務
矢萩 大輔様

Page. 04

「生きがい」と「働きがい」につながる「労働環境」をよくしたい

いろは社会保険労務士法人
出原 吉人様

Page. 06

Other CONTENTS

08 「クラウド給与計算ソフト」って何？
10 クラウド給与計算ソフト導入企業の声
株式会社エルテス／神戸オークション株式会社
12 今話題のクラウド給与計算ソフト「MFクラウド給与」
13 「MFクラウド給与」開発担当者インタビュー
14 column クラウドツールの組み合わせで社会保険労務士事務所の生産性が上がります！
15 column 会社と社員の信用が作る「ノマド革命」

interview 01

クロスフィールズ人財研究所

社会保険労務士としての基本である「労働基準法」と「民法」を中心として、経営に密接につながる法律と常に真剣に向き合い、知識を習得することで地に足をつけたアドバイスを心がけている。

profile

クロスフィールズ人財研究所　代表

三浦 修様

03年に社会保険労務士試験合格、会計事務所で監査担当として勤務後、08年にクロスフィールズ人財研究所を開業。労務コンサルティング、助成金支援を中心に展開。現在スタッフ18名で組織的（労務管理部・BPO事業部、医療介護分科会ほか）に熊本・東京・福岡の中小企業支援を行っている。「社労士の実務経営を考える会」「医療介護経営研究会」（港区虎ノ門）を主宰し、全国の社労士の職域拡大、地域貢献型社労士支援にも力を入れている。

“ムダが嫌いで、システム活用・仕組みづくりを考えるのが好き”

Q. ご自身のブログで「生産性向上」について発信されていますが、改めてお考えを教えてください

性格的にムダが嫌いなんですよね。パターンがあるか、共通化・細分化することでパッケージ化できないか、ということを常に考えていて、システム活用や仕組みづくりを考えるのが好きです。今や、スマホやクラウド、ビジネスチャットという素晴らしいツールが出てきて、電車やタクシーで移動している時間に、意思決定や社内外の関係者とのやりとりができるようになっています。こういったことの積み重ねで毎日1時間の残業が当たり前のようになっていたのが半分になり、やがてゼロになるとすれば、採用活動でも高い生産性がアピール材料になると思います。

Q. なるほど。「生産性向上」が、会社のブランディングにもなるということですね。「AIとの共創」についても書かれていますが、いかがでしょうか

AIについては、“黒船”のように言われることもありますが、私はあった方が良いに決まっていると思っています。前職で会計事務所にいたので両方想像できるのですが、税理士にとっての記帳代行、社会保険労務士にとっての給与代行の速度と精度が上がることはありがたいことです。浮いた時間で、我々の本来の業務のために自己研鑽すべきだと考えます。

本来の業務というのは、税理士は税務面から、社会保険労務士は人事労務面から経営者の相談に乗ること。安心して経営に専念していただけるようになるには、両士業の連携が鍵だと思っています。マイナンバー制度はITの進化とあいまって、それを加速させると見て平成26年夏からシステムベンダーさんを回って開発の方向性を探ったり、開発協力したりしてきました。

Q. マイナンバーやITが両士業の連携を加速させるとはどういったことでしょうか

経営相談・指導を行う専門家同士で連携しあえれば良いのですが、これまでは残念ながらメンツの壁が見受けられることもあったように思います。マイナンバー制度は、我々のサービスのベース<社会保険労務士の1・2号業務、税理士の年末調整>に関わります。セキュリティ対策を強化する必要もあり、手続きに利用するシステムはクラウドが大前提だと考えています。オンプレ（自社開発）でインフラやエンジニアに投資できる時代ではなくなりましたから。

社会保険手続きソフト、給与ソフト、会計ソフトがクラウドになってくると、IDとパスワードでログインできますから、企業・税理士・社会保険労務士の3者間で情報共有することがスムーズになります。そのような背景がありましたので、企業や税理士と繋がるツールになってくれるのでは？と考え、システムベンダーさんを回って思想や今後の計画を聞いてきました。

“社会保険手続きと勤怠管理と連携できる給与計算ソフト”

Q. システムベンダーを回られたとのことですが、お使いになる給与計算ソフトは見つかりましたか

はい。マネーフォワードの提供するクラウド給与計算ソフト「MFクラウド給与」に決めました。正直に言いまして、今利用している社会保険手続きソフト・給与ソフトに不満はなかったのですが、「MFクラウド給与」を選んだ理由は2つあります。

まず、マネーフォワードは社会保険手続きや勤怠管理のベンダーさんと“連携”をうまくされていると感じたことです。社会保険手続きでは「SmartHR」、「労務ステーション」。勤怠管理では「KING OF TIME」、「JOBCAN」、「Touch On Time」、「AKASHI」などとボタンひとつで連携できます。今まで各ソフトごとに情報を入力する必要がありましたが、これらの連携により、入力の二度手間がなくなり、転記ミスによる確認・修正作業の必要もなくなりました。

次に、価格帯が日本のほとんどを占める中小企業に受け入れられやすそうだと感じたことです。世の中がオープンプラットフォーム化していく流れの中で、“3者”連携が現実になるのを期待しています。

Q.「MFクラウド給与」はどういった企業にお勧めしたいと思われますか

歯科医院ですね。関与先のうち医療・介護・福祉施設で50%を占めていますが、これを65%程度まで引き上げていきたいと考えているので、新規開業だけでなく既存の関与先をすべて切り替えたいと思っています。歯科医院の特徴は、職員数が少なくて規模感は同等、女性比率が高いということ。就業規則をはじめ人事労務管理サービスをパッケージ化しやすいんです。集中して導入すれば私どもの経験値も高められますから。

“社会保険労務士と税理士の連携がライフワーク”

Q. お話を少しさかのぼるのですが、先ほどの「社会保険労務士と税理士の連携」の具体例はありますか

雇用促進税制（※）があります。これは簡単に言うと、雇用保険の被保険者数が2人以上増えると税制優遇を受けられる可能性が出てくるというものです。適用までのおおまかな流れは、①雇用促進計画をハローワークへ提出し、②その達成状況の確認印をハローワークでもらい、③それを決算申告書類に添付します。お分かりの通り、両士業にまたがる制度です。

社会保険労務士は、社員数の増減を把握していますし、ハローワークへ出向くのはルーティンのひとつです。事業主に代わって計画と実績を書くこと、提出と受取を行うことを加えても大した手間にはなりません。お客様には、「税理士先生に渡して、使えるようなら使ってください」と一言添えて書類をお渡ししています。平成27年の熊本県での届出件数は250件、そのうち半分が私どもの関与先です。

自分の家の前を掃いているときに、ついでに隣の家の前も掃いておこうというくらいのことで、先生方にもお客様にも喜んでいただけるのはうれしいじゃないですか。そうやって税理士先生から信頼を獲得できたら、尊重しあいながら連携していけることが多くなると思います。税理士と社会保険労務士の連携はライフワークですね。関与先の経営が良くなれば税収も上がって地域にも貢献できますから。

※適用年度中に雇用者数を５人以上（中小企業 等は２人以上）かつ10%以上増加させるなど一定の要件を満たした事業主が、法人税（個人事業主の場合は所得税）の税額控除の適用を受けられる制度。 雇用者数の増加１人あたり40万円の税額控除が受けられる。

Q. 医療・介護・福祉施設の比率を15%上げていきたいということでしたが、そのほかに事務所または所長としての目標があれば教えてください

目標を定めて計画を立てて直線的に進む「山登り型」と、流れに身をまかせて臨機応変に曲線的に進む「川下り型」の2タイプが人間にあるとすれば、私は後者です。売上至上ではなく、専門性を高めたい。自分よりレベルの高い職員を育てるという経営者としてのゴール、お客様にとって良き経営アドバイザーになるという社会保険労務士としてのゴールを目指します。モニタリング指標は、公的機関や専門性の高い業界団体などからの講演依頼です。

また、経営アドバイザーを増やしていこうと、価値観の近い全国の先生方とつながる2つの会も運営しています。「一般社団法人医療介護経営研究会（C-SR）」と「社労士の実務経営を考える会」です。前者は、医療・介護業界の特徴を理解するための勉強会を中心に活動しています。後者は、PマークとISMS取得したマイナンバーとシステムに強い社会保険労務士が所属する会で、会計事務所との連携を強化していきます。

interview 02

有限会社人事・労務

1998年創業。東京都働き方改革巡回指導員を務める。人間性尊重（ES）組織づくり、多様な働き方改革に関する人事労務コンサルティングを行った企業は450社を超える。「人事はデータで語る！」を掲げ、HR techを活用した戦略人事を提唱、社会保険労務士のリーディングオフィスとして注目を集めている。

profile

有限会社人事・労務 代表取締役

矢萩 大輔様

1995年、都内最年少の26歳で社会保険労務士として開業。1998年、（有）人事・労務を設立。（社）日本ES開発協会を主催。「ホラクラシー＝階層のない組織」をテーマに、こしがやFM「大ちゃんの！わくわくワーク！」にてパーソナリティを務める他、「人事制度７つのしくみ」（ナナブックス）など執筆・取材実績多数。最新著書に「社員の多様なニーズに応える社内規定のつくり方」（日本法令）がある。

“多様な働き方の実現をともに後押しできる可能性を感じる”

Q. 御社について教えてください

2017年は開業20周年でした。中小企業向けに人事制度や賃金制度設計等の組織開発コンサルティングを行っています。「人間性尊重経営」を掲げて、ES（従業員満足）を 土台とした企業の組織作りに繋がるサービスをご提供しているのが特徴です。

Q. コンサルティングを強みとされていると思いますが、給与計算代行は行われていますか

3号業務中心ではありますが、コンサルティングを進める中で、給与計算は積極的に受けるようにしています。特にここ最近は、賃金データの分析ニーズが増えてきています。よりよい組織づくりのためには、労働市場をとらえ、さらに賃金データも活かして人事制度を構築していく必要がありますから。

Q. 給与計算ソフトは何を使われていますか

これまでインストール型の給与計算ソフトで給与計算代行を行っていましたが、まさにスタンドアローンでした。テクノロジーが発達し、人事領域でもAIや多変量のデータ活用ができるようになってきたので、「連携」発想でつくられているクラウド型の給与計算ソフトが良いのではと思うようになりました。マネーフォワードのクラウド給与計算ソフト「MFクラウド給与」は、他社の労務手続きソフトや勤怠管理ソフトとも連携していますし、クライアントの社長・税理士・社労士と3者で同じデータを見られるのも便利です。

Q. 税理士との連携とは具体的にどのようなことをされているのでしょうか

財務諸表データ、特に労働分配率の問い合わせなどです。労働分配率は粗利に占める人件費の割合で、その推移は「生産性」に関する重要なデータのひとつです。業界によって適正とされる目安は異なりますが、3～5年で全社・組織別・チーム別と細かく区切って見ていくと、人事制度との整合性についても示唆を含んでいます。

クライアントの顧問税理士の先生にも、マネーフォワードのクラウド会計ソフト「MFクラウド会計」を使っていただくようにお願いをするのですが、難しい場合は、決算を先生におまかせして、日常の簡単な会計データを「MFクラウド会計」から当社が入力させていただくこともあります。やってみてわかりましたが、小規模の会社、働く場所や時間帯が異なる従業員のいる会社には非常に勧めやすいです。行政がテレワークなどのガイドラインも出し、企業も多様な働き方を実現させていく必要性がある中で、その実現をともに後押しできるものとして、「MFクラウドシリーズ」には可能性を感じています。賃金×労働時間×労働分配率などの財務諸表、賃金あるいは等級×労働時間×従業員満足度などの各種診断といったデータを組み合わせて分析し、理想の人員配置（図1）や働き方改

革につながる人事制度構築を提案していこうと考えています。

“目に見えないものを「見える化」したい”

Q. コンサルティングの中心になる分析データについて、事例などもう少し詳しくご紹介いただけますか

たとえば、経営理念を実現するための行動規範の実践度合い、個々の従業員のマインドといった、目に見えないものをテキストマイニングで定量的に「見える化」することに、連携している大学の先生とともに取り組んでいます。日報システムはマルチデバイスの「gamba!（※1）」というツールを活用します。経営理念とフィットするワードをあらかじめ設定し、「gamba!」上の書き込みの中でそれらが何回含まれているかを抽出することで、ミッション・ビジョンの浸透度やバリューの体現度を従業員別に出すことができるので、人事評価・賃金設計のひとつの判断軸にできると思っています。

また、「人財士～JINZAI-ZAMURAI（※2）」を用いた組織診断結果に、勤怠・給与・売上や労働分配率といった財務諸表データを組み合わせれば、残業時間とモチベーションの関係、組織風土と売り上げの関係など、見えてくることがいくつもあります。残業が多く増員ニーズがあるとしても、残業時間だけでなく従業員のマインド状態や上司のリーダーシップも考慮しないと、人が増えても残業が減らずに人件費がかさんだだけという結果も起こりえます。

ふたつほど例を挙げましたが、とかく計画と実行ばかりで、検証がおざなりになりがちだった人事領域が、ここ2～3年で大きく変わると確信しています。当社は新しい時代の組織開発・制度設計を提案できるように、データ分析専門部署を作るなど準備を進めているところです。

※1　株式会社 gamba の提供する社内 SNS 型日報アプリ
※2　有限会社人事・労務の開発した ES（従業員満足）組織診断ソフト

“HR tech 時代の最先端をいく社労士事務所でありたい”

Q. 新しい時代というお話が出ましたが、これからの社労士業界についてどのようにお感じになっていますか

これからの社労士は3号業務で比較される時代になってくると思います。クライアントの社長や人事部のアドバイザーとして、意思決定に活かしてもらえるよう、ツール・データの提供とともに提案を行えるかどうかが、価格競争に巻き込まれないための鍵でしょう。

Q. そのための戦略がデータの分析・活用ということですね

はい。当社が HR tech 時代の最先端をいく社労士事務所でありたいと思っています。これまでの「人事」は、採用・給与計算・制度設計がバラバラかつクローズでした。それぞれに眠っていたデータを、みんなに見える明るいところに移していくのが私たちの役割だと思います。新卒一括採用で同質性が高かった従来の組織が、多様な価値観・働き方の集合体へと変化していても、組織が経営戦略実現の要であると同時に、人が幸せになる要因のひとつに組織・会社があることは変わりません。AI・クラウドといったテクノロジーを人事領域に活用し、効率化を進めるだけでなく、より人間性を尊重した経営が実現されるよう、これからも私たちは尽力していきます。

＜図1＞ 戦略的人員計画

■ 収益シュミレーション

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	
売上高	132,200	138,810	145,751	153,038	160,690	
変動コスト	93,061	97,714	102,600	107,730	113,116	
固定コスト	4,124	4,124	4,124	4,124	4,124	
人件費	16,386	16,808	17,217	17,625	18,523	5年間の期待利益
営業利益	18,629	20,164	21,810	23,559	24,927	
営業利益（現在価値）	18,629	18,147	17,666	17,175	16,355	87,972

単位：万円

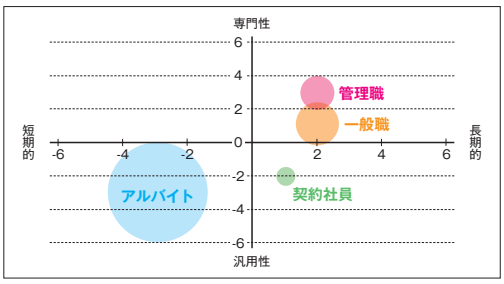
■ 人件費の内訳

		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
正社員（中堅・管理職）	単価	1,883	1,883	1,883	1,883	1,883
	総労働時間（将来目標値）	5,065	4,812	4,571	4,343	4,126
	人数	3	3	3	3	3
正社員（初級・一般職）	単価	749	756	764	772	779
	総労働時間（将来目標値）	6,754	6,976	7,159	7,307	7,421
	人数	4	4	5	5	5
契約社員（新社員採用）	単価	461	478	482	487	492
	総労働時間（将来目標値）	1,318	1,878	2,378	2,824	4,293
	人数	1	2	2	3	4
アルバイト	単価	280	287	295	302	310
	総労働時間（将来目標値）	14,604	13,285	12,062	10,928	9,877
	人数	26	25	24	23	22
全体	目標労働時間	27,740	26,951	26,171	25,402	25,717

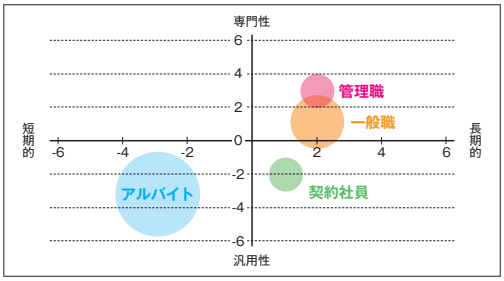
単位：万円／時間／人

■ 人材ポートフォリオ

【2017年】



【理想人員】



interview 03

いろは 社会保険労務士法人

平成 15 年 5 月開業。岡山マイナンバー対策支援センターを運営し、マイナンバーに関する幅広いサポート依頼に対応。顧問先は数百人規模から設立したての会社まで幅広く、総合的に中小企業の経営支援を行っている。

profile

いろは社会保険労務士法人　代表

出原 吉人様

大学を卒業後、一般企業の人事部に所属。社会保険労務士の資格を取得を機に、30 歳で独立。平成 15 年 5 月、岡山市でいではら社労士事務所を開業。平成 24 年 11 月、「中小企業庁　経営革新等支援機関認定」を取得。平成 28 年 1 月、いろは社会保険労務士法人に法人化。

「生きがい」と「働きがい」につながる「労働環境」をよくしたい

Q. いろは社会保険労務士法人という法人名の由来を教えてください

「社会保険労務士法人」という並びは漢字ばかりなので、柔らかい印象にするために平仮名にしようと決めていました。社会保険労務士として「生きがい」と「働きがい」につながっていく「労働（環境）」をよくすることに貢献したいという想いから、それぞれの言葉を頭の中で並べたんです。「生きがい」と「働きがい」の真ん中に「労働（環境）」を置いて、各頭文字を繋げてみたら「い」「ろ」「は」という日本人ならなじみのある言葉になったので、これにしました。

Q. そんな労働を叶えている人がたくさんの社会だと良いですよね。その想いをもたれるきっかけはなんでしたか

ターニングポイントが特にあったわけではありません。一般企業に勤めて、人事部で採用を中心に担当していました。業務の裏づけができるといいなと思って、社会保険労務士試験にチャレンジしました。独立は、合格から半年くらいでしょうか、ふいに思って実行したんです。

Q. そのときの年齢はおいくつで、また、売上げの見込みはあったのですか

当時 30 歳で、見込みは特にありませんでした。無謀ですよね（笑）取った戦略といえば、税理士事務所に自分を売り込んだことでしょうか。手続業務や助成金など税理士にできないことを私が担当し、私にできない決算業務については税理士に依頼して、法人のお客様を支援するにあたって互いに補完しあっていました。そんな風にして、13 年ほどその事務所に机を置かせてもらっていたのですが、マイナンバー制度が始まったことや、法人だけでなく、障害年金など個人向けのサポートも手がけていきたいと思ったことをきっかけに、2015 年に事務所を分けて構えることにしました。

「あの人でないと分からない」をなくす給与計算ソフト

Q. 給与計算ソフトを変更されたとお聞きしました。ソフト選定のポイントについて教えてください

労務手続きソフトの変更がきっかけですが、移行先のクラウドソフトが手続特化で給与計算機能を持っていなかったので検討していました。給与ソフトの中でもマネーフォワードの「MFクラウド給与」を選んだ理由は、ボタンひとつで手続きソフトと連携できるという点と、見ただけでわかる操作性の 2 点です。

Q. 操作性の違いは、それまでのソフトと比べて具体的にいかがですか

以前は、労務手続きソフトに備わった給与計算機能を利用していましたが、基本給や手当、課税･非課税、計算で参照する単価といった設定が難しく、既存職員には教えづらく・新規職員には覚えづらいものでした。顧問先に新入社員が入ったときに設定を頼んでも、結局頼んだ方に作業が戻ってきてしまう状況だったので、「あの人でないと分からない」をなくすソフトでないと意味がないと思っていました。その点、「ＭＦクラウド給与」は入力箇所が見たら分かるので教えやすく・覚えやすくなりました。従業員情報は、労務手続きソフトからボタンひとつで入ってくるのでとてもラクです。

また、データ項目の表示順変更がドラッグ＆ドロップでできたり、項目の使用・不使用の切り替えがチェックを入れるかどうかだけだったりと、操作も簡単です。ちょっとした操作性でも何件もあると体感は全然違うので、職員も「今後は『MFクラウド給与』を利用するお客様を増やしたいですね」と言っています。

Q. 事務所の職員様にとって使いやすいソフトなのですね。お客様のご評価はいかがでしょうか

お客様から質問が少ないので、滞りなく使っていただいていると思います。先ほど挙げたような設定はこちらで行ってお渡しするのですが、手離れがいいです。お客様によっては、社内で「MFクラウド給与」で給与計算をされるところもありますが、その場合も最初に２～３時間操作についてご説明するだけですね。給与計算は設定どおりでミスがなく、ラクになったとおっしゃっていました。

Q. 顧問先へのソフトのご提案はどのようにされていますか

お客様が利用中のソフト選定理由と、そのお客様との契約のきっかけ、によりますね。たとえば量販店から購入された場合はおすすめしやすいですが、ご紹介元の税理士先生のご指定だと気をつかいます。職員が増やしていきたいと言っている「MFクラウド給与」は、今のところ、どこからのご紹介でもないご新規のお客様へおすすめしています。

そんなわけで、現在事務所で利用中の給与ソフトは３種類あります。スタンドアローン型ソフトでは、基礎データはお客様の PC の中にあるので、訪問して USB に落としてくるか、ツールを使って遠隔操作で落としてくる必要があります。１種類にできればこういうこともなくなるのでありがたいのですが、ソフト移行費用と現行業務に就いている人の人件費とのバランスはお客様の経営判断です。また、業務フローの変更がお客様の負担にならないことは大前提です。まだ少し時間はかかると思いますが、私どもが使いやすいものはお客様にとっても同じはずなので、だんだん比率は上がっていくと思います。

余談ですが、今日職安の職員の方と話したときに「離職票も紙より電子データの方が楽なんだけど…」とおっしゃっていて、ゆっくりでも e-Gov 浸透へ向かっていっている気がしました。離職票を紛失して再発行を求められたとき、紙データを探して、それを紙に手で書き写しているそうなんです。時間の価値はみんな気づいているんですよね。いずれは電子化に対応できていることが内部の生産性だけでなく、行政の生産性を上げ、お客様からの信頼にも結びつくという差別化理由になっていくのかなと思っています。

“職員の働きやすい環境をつくり、その結果をお客様に提案していきたい”

Q.「使いやすい」ソフトで所内の業務効率があがって、今後どんなことに取り組んでいかれたいですか

内部と外部と両方ありますね。内部的には、職員の働きやすい環境を維持すること。外部的には、その結果を提案していくことです。実践していることが一番伝わると思うので。そして、無理のない範囲、５年くらいで２～３倍に顧問先を増やし、その売上げを職員の給与に反映させていきたいです。

労働保険の年度更新時期など、以前の繁忙期はすごい残業時間だったんです。今ではときどき私が残る程度で、職員は定時で帰れています。現在の職員は５名、その時代を知るのは育児休業中の１人だけですが、この状態を維持したいですね。日々の業務に余裕ができてくると、私から職員へ労務知識を伝えていけるし、そうなると私がお客様へ提案活動に行くことができます。

アウトプットは、能力×投入時間ですよね。時間も人も変えなくても、業務手順を変えるとアウトプットの質は変えられます。お客様にとって、「改善」よりも大きな「改革」のご支援ができるようにしていきます。この下準備には「MFクラウド給与」を提供されているマネーフォワードさんへの期待も大きいです。

「クラウド給与計算ソフト」って何？

最近よく耳にするようになった「クラウド給与計算ソフト」。
だけど、周りで使っている人はいないし、なんだか難しそうだし、誰に聞けば
いいかわからないし…そんな社会保険労務士事務所様の疑問にお答えします！

Q. クラウドって何？

データを自分のパソコンや携帯端末などではなく、インターネット上に保存するサービスのことです。会社、外出先、自宅などのさまざまな環境で、インターネットがつながるデバイス（パソコンや携帯電話、スマートフォン）からクラウドの中にあるデータを閲覧、編集、アップロードすることができます。
また、複数人でクラウド上のデータ共有ができる点も特徴です。社会保険労務士事務所様にとっては、顧問先企業担当者様とクラウド上でデータのやり取りが可能になり、共有が楽になります。

Q. 従来のインストール型の給与計算ソフトと何が違うの？

- ☑パソコンにインストールをする必要がないので、いつでも・どこでも利用できます。
- ☑税率・保険料率の改正も自動で対応しアップデートされるため、わずらわしいソフトの買い直し、アップデート等の作業が不要です。
- ☑「会計ソフト」、「マイナンバー管理ソフト」、「勤怠ソフト」、「労務ソフト」、「銀行」ともサービス連携できるので、給与計算業務がもっと便利・簡単になります。（MFクラウド給与の場合）
- ☑パソコンやスマートフォンから Web 給与明細を確認できます。紙の給与明細をやめることでコスト削減にもつながります。

Q. インストール型と比べて機能が不足してるんじゃない？

実際にクラウド型をお使いの社労士様には「従来のインストール型と比較しても機能に不足はない」という声もあります。また、一般的にインストール型にはできないと言われている「勤怠サービス」「労務サービス」「銀行」との連携があり、給与ソフト以外のソフトとも横断的に利用することができます。（MFクラウド給与の場合）

Q. セキュリティやデータ保管が心配

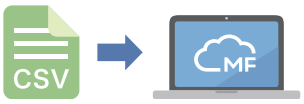
クラウド給与計算ソフトの多くは厳重に管理されたデータセンターで運用されているため、データを自社で管理するのに比べて、情報の漏えいや消失等のリスクを低減させることができます。また、データは暗号化して厳重に管理されています。
お使いのパソコンが壊れても、データは自動でバックアップされクラウドに保存されているため、紛失・盗難の際にもデータは安全です。データの保存期間は無制限です。（MFクラウド給与の場合）

Q. 料金高いんじゃないの？初期費用とか高そう

クラウド給与計算ソフトの多くは、初期費用が無料です。ソフトのアップデートも無料で自動更新され、買い替えの必要もありません。また、サポートも無料で受けられるものがほとんどです。
月額費用のみ（MFクラウド給与の場合 2,500円～）で使い始められます。

Q. すでに他の給与計算ソフトを使っちゃってるんだけど

従業員データを CSV で一括インポートできるので、他の給与計算ソフトから簡単に移行できます。さらに、移行作業を代行してもらえるキャンペーンを実施している会社もあります。
（MFクラウド給与の場合 ▶ https://goo.gl/dFwdJo）



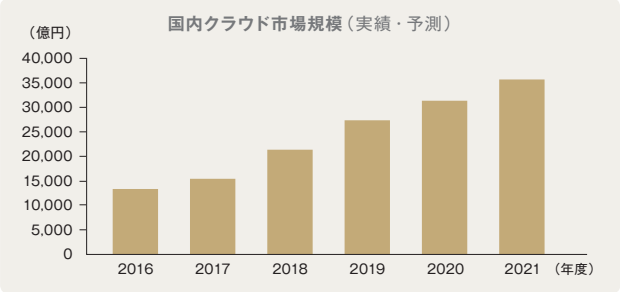
Q. クラウド給与ソフトにしたら社労士の仕事がなくなりそう

仕事がなくなるのではなく、現在の仕事が効率化され、より多くの仕事を請けることができるようになります。また、企業様と社会保険労務士事務所様のコミュニケーションコスト・オペレーションコストが削減されることにより、多くの企業の仕事を請ける余裕が生まれます。

クラウドサービスを利用する企業は年々増えています

国内クラウド市場規模は 1.4 兆円を突破 2021年度には 3.5 兆円を超えると予測

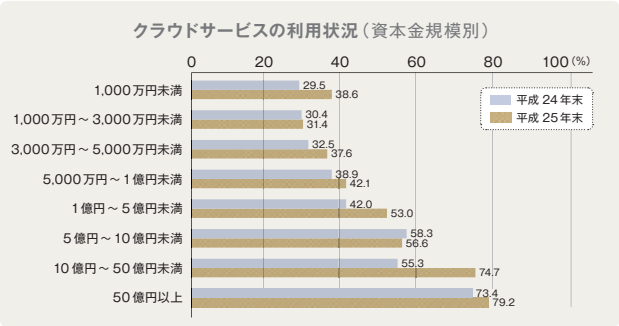
2016年度におけるクラウドサービス市場全体の規模は対前年度比 38.5% 増の1兆 4,003 億円となり市場が大きく成長。クラウドの持つコストメリットやスピードメリットを背景に、社内の既存システムのクラウド移行が加速する結果、2021年度には 2016年度比 2.6倍の 3兆 5,713 億円に成長すると予測されます。



出典（株）MM総研 国内クラウドサービス市場規模の調査 2017年 12月

企業規模に関わらず クラウドの導入が進んでいます

クラウドサービスの利用は大企業だけにとどまらず、広く中小企業へと利活用が広がっています。資本金規模別のクラウドサービスの利用率を見ると、企業規模にかかわらず、わずか 1年で目に見えて利用率が上昇していることがわかります。

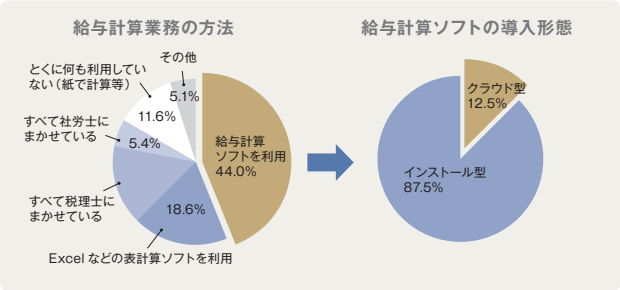


出典 総務省「平成 27年通信利用動向調査」

給与計算ソフトにもクラウド化の波が押し寄せています

給与計算ソフト利用者のうち クラウド型利用は 12.5%

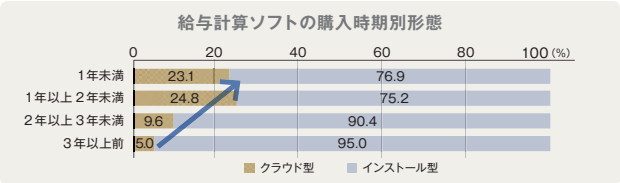
従業員 300人未満の中小企業等における給与計算業務の方法は、給与計算ソフトの導入によるものが 44.0%を占め最も多くなっています。さらに給与計算ソフト利用者においては、クラウド型サービスの利用が 12.5%、インストール型のパッケージ導入によるものが 87.5%で、現時点ではクラウド型の利用率は 1割程度となっています。



出典（株）MM総研 クラウド給与計算ソフトの利用状況調査 2016年 3月

給与計算ソフト購入者の 2割以上が クラウド型を選択

給与計算ソフトの購入時期別に導入形態を分析したところ、1年未満ではクラウド型の導入が 23.1%、1年以上 2年未満では 24.8%で、ここ 1～2年の購入においては 2割を超える水準となり、前述のクラウド利用率 12.5%の 2倍近くを占めていることが分かりました。中小企業等における給与計算ソフト購入者の約 4社に 1社がクラウド型のサービスを選んでおり、今後は各種クラウドサービスの認知拡大に伴ってこの割合がさらに増加していくことが予測されます。



出典（株）MM総研 クラウド給与計算ソフトの利用状況調査 2016年 3月

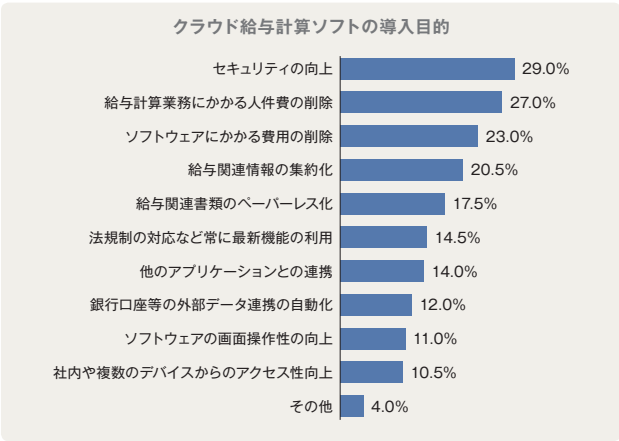
クラウド給与計算ソフトの導入メリットは セキュリティの向上とコスト削減

クラウド給与計算ソフトの導入目的として「セキュリティの向上」が筆頭（29.0%）に挙げられました。同ソフトの多くは厳重に管理されたデータセンターで運用されているため、従業員のマイナンバーを含め給与関連データを自社で管理するのに比べて情報の漏えいや消失等のリスクを低減させることができます。

次いで、「給与計算業務にかかる人件費の削減」（27.0%）、が導入目的として上位に挙げられました。紙による給与明細等を従業員へ配布しない「給与関連書類のペーパーレス化」（17.5%）の実現を含め、コスト削減が多くの分野で実現できるのもクラウド型のメリットと言えます。

さらに、近年増加している税制改正への対応においても税率変更やソフトウェアのバージョンアップなどが手間や費用をかけることなく自動で実施されるなど、クラウド型サービスのメリットをユーザーが認識しつつあります（「法規制の対応など常に最新機能の利用」（14.5%））。

一方、「社外や複数デバイスからのアクセス性向上」を導入目的とする割合は 10.5% とそれほど多くはありませんが、法人におけるモバイル端末の普及・活用が進む中、従業員が多様なデバイスや OS から社内の情報にアクセスする機会が増えており、勤怠や給与に関する情報の入力・閲覧も今後増加すると見られます。そのため、マルチデバイス・マルチ OS 対応のクラウドサービスの重要性が一層増すと考えられます。



出典（株）MM総研 クラウド給与計算ソフトの利用状況調査 2016年 3月

Voice 01

勤怠管理、労務管理システムと クラウド給与計算ソフトを連携しています

給与計算は外部にアウトソースしていましたが そのためのデータ作成に時間をとられていました

当社の従業員は150名ほどですが、労務関係はほぼ私一人で対応しています。給与計算は、社労士事務所にアウトソースしていました。まず当社で勤怠データや必要な情報を整理しお渡しするのですが、その作業にとても時間をとられていました。さらに社労士事務所から送られてくる給与計算データと、こちらがお渡ししたデータを突合する作業も発生し、それだったら内製化した方がいいんじゃないかと思うようになりました。

労務管理ソフトと勤怠ソフト、給与計算ソフトの 3つがボタンひとつで連携します

まず勤怠システムを変更しました。情報収集はインターネットを使い、よさそうだなと思った5社ほどに直接話を聞きました。最終的にクラウド勤怠システム「AKASHI」を選んだのですが、理由は直感的に簡単に操作できると思ったからです。社内での導入に際しても、私から社員に対して、操作説明などは一切行わなかったのですが、それでも従業員は十分使ってくれています。実際、管理側の立場からしても非常にわかりやすい仕組みになっています。

「AKASHI」導入が決まると、営業担当者からクラウド労務管理ソフト「SmartHR」を勧められ、検討を始めました。さらに「SmartHR」の話を聞いてみたら、クラウド給与計算ソフトともつながると言われて、「MFクラウド給与」をご紹介いただきました。

「SmartHR」上で本人に基礎情報を入力させて、それを「MFクラウド給与」や「AKASHI」に連携させると、そのまま情報が流れるんです。さらに「AKASHI」の勤怠データもボタンひとつで「MFクラウド給与」に取り込めるので、給与計算に関する手入力が劇的に減りました。

連携できるサービスが多いというのは 使う側からしたらメリットしかありません

給与計算をアウトソースしていたときは月額30万円の費用がかかっていましたが、クラウドサービス導入により15万円ほどになりました。

コストメリット以上に、工数の削減が非常に大きいと感じています。労務管理では社員マスタを作る必要があるのですが、「SmartHR」上で従業員本人に自分のデータを入力してもらって、出来上がるというのは、人事としては非常に便利です。

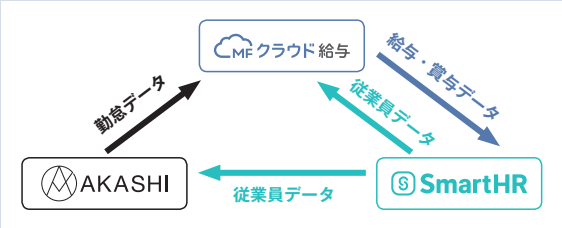
「MFクラウド給与」は連携できるサービスが多いですが、選択肢が広いという意味では、使う側からしたらメリットしかないですよね。弊社にとっては「AKASHI」の勤怠システムがマッチしていましたが、他社にとってはそうじゃないケースもあると思います。また、会社のフェーズによって使いやすいソフトも変わってくる可能性がありますから。

Eltes

株式会社エルテス

株式会社エルテスは、リスク検知に特化したビッグデータ解析によるソリューションを提供するテクノロジー企業です。テロや産業スパイ等のリスクが年々高まる中、私たちは、テクノロジーによって社会をリスクから解放することを社是と捉えています。

Connected HR 労務領域における業務を一気通貫



「MFクラウド給与」は、「AKASHI」と連携することで従業員の勤怠データが取り込めるようになるとともに、「SmartHR」との連携で、従業員データと給与・賞与データのやり取りができるようになります。

管理部 人事グループ
マネージャー
新森 直人様

Voice 02

バックオフィス業務も効率化できる給与計算ソフトを探していました

「MFクラウド会計」や勤怠ソフトとの連携ができる「MFクラウド給与」を選択しました

当社は、インターネットでの販売を代行するサービス業です。お客様から売りたいモノをお預かりし、当社が運営するショッピングサイトで販売を行います。商材は、新品から中古品まで取扱いが可能で、主に中古品の販売をしています。商品が売れた場合に、代行手数料を頂戴する成功報酬システムを採用し、個人・法人問わずご依頼をいただいます。

従業員が少なかったときは、給与計算ソフトを利用せずに税理士先生にサポートいただいてました。現在は、社員・アルバイト含め9名となり、従業員の増加に伴い社労士先生・税理士先生へアウトソースするため、クラウド給与計算ソフトの導入を決めました。

その際に決め手となったのは、会計ソフトとの連携や、勤怠ソフトとの連携です。会計ソフトとの連携により、計算した給与データが自動で会計ソフトへ連携されます。さらに、勤怠ソフトとの連携で、従業員の勤怠データを自動で取り込むことができるので、給与計算がラクになります。単純に給与計算業務だけを効率化するよりも、バックオフィス全体の作業を効率化したかったので、クラウド給与計算ソフトの「MFクラウド給与」を選択しました。

給与計算にかかる時間だけでなく、精神的負担も削減できました

「MFクラウド給与」の導入に関しては、「MFクラウド会計」を利用している会計事務所がサポートしてくれたので、とてもスムーズに導入することができました。操作に関しても2、3ヶ月で慣れることができ、給与計算の時間も2、3時間削減することができました。

クラウドなので、インターネットからアクセスすればいつでもリアルタイムで確認することができるため、社労士先生・税理士先生とのメールのやり取りがなくなりました。また、給与計算は間違えが許されませんが、「MFクラウド給与」でシステム化されたことにより、人為的ミスを防ぐことができます。ミスが許されないというプレッシャーから解放されたことも、大きな収穫でした。時間の削減やバックオフィスの効率化ももちろん必要なことですが、この精神的負担の削減に関しても、個人的には大事なことだと感じます。

Web給与明細は、従業員からも好評です

今までは給与明細を発行・印刷・配布という作業を行っていましたが、「MFクラウド給与」を導入したらすべてWebで完結するので、紙のコストカットができるうえ、一連の作業をなくすことができました。

従業員からは「スマホで見れるので便利」「IT会社っぽい」「かっこいい」といった声もあります。給与担当者の作業を減らすことができたうえに、従業員の便利さも向上することができました。

神戸オークション株式会社

お客様から売りたいモノをお預かりし、自社で運営するショッピングサイトで販売。商材は、新品から中古品まで取扱いが可能で、特に中古品の販売を得意としています。商品が売れた場合に、代行手数料を頂戴する成功報酬システムを採用しています。

Web給与明細　スマホで給与明細が確認できる

- 印刷の必要なし
- 封入作業や配布も必要なし
- 過去データの閲覧もOK
- 賞与明細書や源泉徴収票にも対応

「MFクラウド給与」のWeb給与明細は、スマートフォン・タブレットに最適化されています。従業員は手間をかけることなく、給与明細が交付されたらすぐに、お手元のスマートフォンやタブレットで確認することができます。

代表取締役
蓑代 雄一様

MFクラウド 給与

初心者でも迷わない給与計算ソフト

自動だから迷わない、間違えない、安心できる。

- 従業員データの作成
- 勤怠時間の集計
- 給与・賞与計算
- 計算結果の確認・修正
- 会計ソフトへの連携
- 給与明細の印刷・配布

従来の作業量から **60%** 削減 !!※

MFクラウド 給与

※ 当社調べのアンケート結果より

時間もコストも 大幅削減 !!

保険料率や税率の自動アップデート、顧問先と社労士間での簡単データ共有により、工数を大幅に削減することができます。また、Web 給与明細も搭載しているため、紙代も印刷代も配布の手間もいりません。

Connected HR

「勤怠管理」「給与計算」「労務管理」を一気通貫・最適化

給与計算をするには、勤怠データを集計して給与計算ソフトに取り込むことと、従業員情報を入力する必要があります。
紙のタイムカードやタイムシートを使っていると、集計や取り込みに手間と時間がかかります。
また、従業員の情報を労務ソフトに入力して管理している場合は、
給与計算ソフトにも入力する必要があり、二度手間となってしまいます。
MFクラウド給与では、シームレスに給与計算業務が行えるよう、クラウド勤怠管理ソフト、クラウド労務管理ソフトと連携しています。

勤怠管理

AKASHI / KING OF TIME / CREW CHECKER / Touch On Time / ジョブカン / RecoRu

勤怠データ

API ↔ MFクラウド 給与 ↔ API

給与・賞与データ

労務管理

SmartHR / 労務ステーション

従業員データ

MFクラウド給与では、勤怠管理、給与計算、労務管理をはじめとするさまざまなサービスを API で連携し、労務領域における業務をクラウド上で一気通貫・最適化できる世界を目指しています。

CSV 連携可能な勤怠管理ソフト

cLOuzA / TIME CARD / Aipo.com / 勤太くん / Tablet Time Recorder / シュキーン

他社勤怠管理ソフトから出力した CSV をそのままインポートができます。

MFクラウド 給与

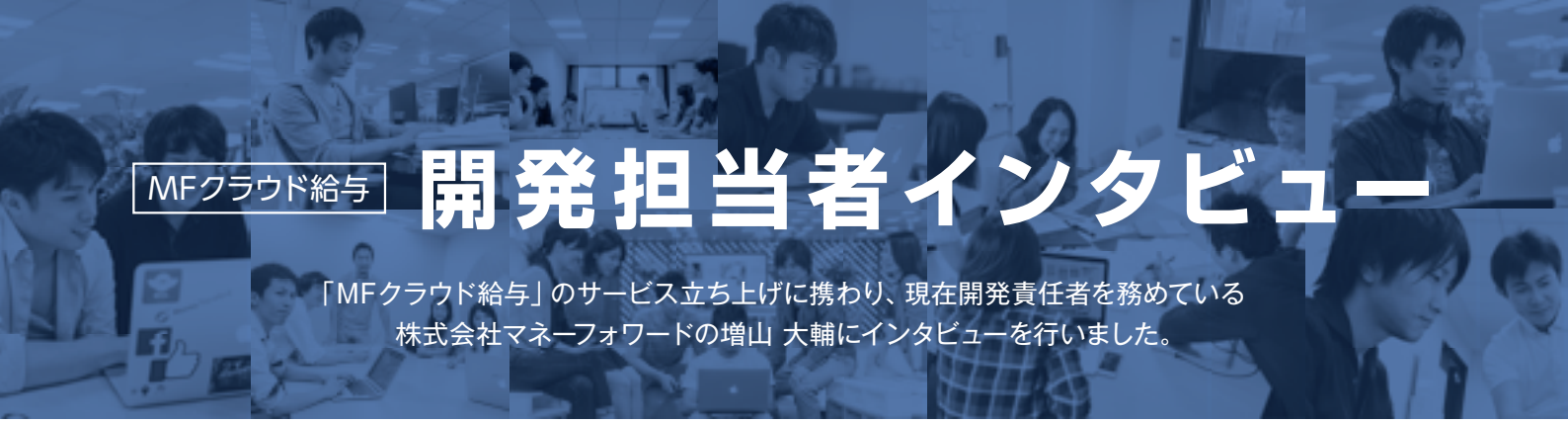
MFクラウド 給与 検索

https://biz.moneyforward.com/payroll

社会保険労務士事務所様向けの特別料金プランのご用意もございます。
まずはお気軽にメールにて問い合わせください

mf-event@moneyforward.co.jp

掲載内容は 2018 年 2 月時点の情報です。



MFクラウド給与

開発担当者インタビュー

「MFクラウド給与」のサービス立ち上げに携わり、現在開発責任者を務めている
株式会社マネーフォワードの増山 大輔にインタビューを行いました。

Q1 マネーフォワードに入社した理由や、クラウドサービスに携わるようになったきっかけを教えてください

もともとインターネットへの興味は強く持っていました。前職は、不動産会社様向けのASP事業※を展開している会社だったのですが、その職場でエンジニアとしてインターンを始めたのが大学生のころでした。そのころから、自分が作ったものをすぐにユーザー様に届けられ、かつフィードバックが得られやすい、インターネットという環境や、インターネットを使ったサービスを実現するための技術に、どんどん魅せられていきました。

そんななか、当時マネーフォワードのCTOだった浅野と話す機会があり、そこでマネーフォワードの理念や目指している方向性について強い共感を覚えました。ただ技術を駆使したすごいサービスを作るのではなく、どうしてそのサービスを作るのか、また、そのサービスをどう維持していくのかといったところに強い意思を感じましたし、何より実際にそのサービスを使ってくださるユーザー様のことを第一に考える姿勢に、惹かれて入社を決めました。

※ソフトウェアをインターネットなどを通じて利用者に遠隔から利用させるサービス

Q2 現在マネーフォワードではどのような業務をしていますか

現在は「MFクラウド給与」の開発に携わっています。もともと、「MFクラウド給与」サービスの立ち上げから開発に携わっていますが、2017年1月からは「MFクラウド給与」の開発責任者を任されています。

具体的には、「MFクラウド給与」の方向性を考えたり、機能の仕様を決めたり、開発スケジュールの調整といったことを行っています。

「MFクラウド給与」は給与計算ソフトとして必要な機能は増えてきたのですが、機能が増えるにしたがって、既存の機能との整合性が取れていない部分や、使い勝手の悪い部分出てきています。加えて、これから開発を行うものの内容を見据えて、どういった形でユーザー様に提供していくのが違和感なく受け入れていただけるか、そういったところを重視しながら取り組んでいます。

Q3 「MFクラウド給与」をどのようなユーザー様に使っていただきたいですか

小規模な会社で、社長自身が従業員の給与計算を行っているような場合だと、給与計算に関する知識があまり豊富でなく、正しく給与計算が行えているのか不安になるかと思います。そのような場合でも、画面の説明にしたがって入力を進めるだけで、正しく給与計算が行えるようなソフトにしていきたいと考えています。

また、大きな規模の会社でも、ストレスなくご利用いただけるような取り組みも進めていきます。さらに、「MFクラウド給与」のユーザー様をサポートいただいている、社会保険労務士事務所様や会計事務所様のスタッフの方々にとっても、サポートしやすいソフトを目指していきます。

まだまだ実現できていないことが山積みですが、これからもユーザー様のお金に関する不安、課題を解決するべく、1歩ずつ確実に「MFクラウド給与」を作り上げていく所存です。

Profile

MFクラウドサービス開発本部
MFクラウド給与 オーナー

増山 大輔

大学在学中より、不動産系サイト制作会社にてインターンを経験し、その後入社。不動産会社向けASPや社内ツールの開発、既存システムのリプレイスなどフロント・バックエンド、インフラ全般を担当。マネーフォワードでは、Railsエンジニアとして「MFクラウドシリーズ」のWebアプリケーション開発に従事し、現在は「MFクラウド給与」の開発責任者を務めている。

社会保険労務士にクラウドサポートをしている税理士が教える

社会保険労務士お役立ちコラム

クラウドツールの組み合わせで社会保険労務士事務所の生産性が上がります！

「MFクラウド給与」とクラウド勤怠、クラウド労務手続きソフトの一気通貫導入で、お客様へ新たな付加価値を提供しましょう。
また、うまく運用することで社会保険労務士事務所業務の生産性をアップさせることも可能になります。

ナレッジラボは何をしている会社？

ナレッジラボは「日本中の中小企業の経営インフラを変えていく」というミッションを掲げ、公認会計士、税理士が主体となって、WEBシステムの開発、各種クラウドツールの導入支援や運用のサポートをしている会社です。

クラウドツールの導入にあたっては初期設定及び運用を軌道に乗せるまでが非常に重要で、この部分を徹底的にサポートする「クラウドサポート」を提供しています。

さまざまなクラウドツールの提案を積極的に行っていますが、非常に反響が大きいのが、「MFクラウド給与」＋「クラウド勤怠ソフト」＋「クラウド労務手続きソフト」の組み合わせです。

「MFクラウド給与」＋「クラウド勤怠」＋「クラウド労務手続き」の組み合わせは強力

それぞれのソフト単体でも十分に効果はありますが、組み合わせてデータ連携させることで非常に高い効果を生むことが可能です。

◆ お客様のメリット

① リアルタイムで勤怠の状況がわかる

お客様にとって人件費の管理は非常に重要ですが、非常にコントロールが難しい項目でもあります。

クラウド勤怠ソフトは勤務時間をリアルタイムで集計、把握することができ、時給単価を設定しておけば、月の途中であっても概算人件費を算出することが可能です。この概算人件費を把握することで、シフト変更や残業時間のコントロール等を通じ、月の締めを待たずにリアルタイムでの人件費管理、コントロールが可能になります。

② タイムカードの集計誤りがなくなり、集計時間が短縮できる

お客様自身がタイムカードを集計し給与計算を行う場合、勤務時間等を給与計算ソフトに転記する必要があります。この場合、どうしても人の手が介在することになり、転記ミスや計算ミスが起こる可能性が高くなってしまいます。

クラウド勤怠ソフトと「MFクラウド給与」を連携させることでこのミスを軽減できます。

◆ 社会保険労務士事務所の生産性アップ

① クラウド化により顧客データをいつでも参照可能

お客様とのやり取りを行う上で、給与データや勤怠データ、労務関連の届出書の確認が必要になるケースがあると思われます。クラウドツールを導入し常にデータ共有しておけば、必要なときに必要な顧客データを参照し、スムーズに業務を行うことが可能です。

たとえば、外出先で顧客から問い合わせがあった場合であっても、事務所に戻らずにその場で顧客データの内容確認を行い、迅速に回答することが可能です。

② 事務所業務をより正確、迅速に

社会保険労務士事務所がお客様から給与計算や労務手続き関連の届出書の作成業務を受託しているケースがあります。たとえば、お客様からタイムカードをお預かりし、給与計算業務を行っている場合、所内で手計算や転記業務が必要になり、どうしてもミスが発生しやすくなります。

このような場合には、クラウド勤怠ソフトからクラウド給与へ勤怠データを自動連携すれば集計、転記ミスが減り、事務所業務の精度アップおよび所内業務の生産性向上が見込めます。

③ 仕組みを作ることが顧客への価値提供になる

勤怠、給与計算、労務手続き等を一気通貫でシステムとしてお客様へ提供することで、お客様の給与計算や労務周りの仕組みを整えることができます。

給与や労務周りの業務について、属人的な管理から脱し仕組み化することを通じて、業務の標準化をお客様へ提供することが、事務所の強みにできるかもしれません。

社会保険労務士事務所様のお手伝いも

ナレッジラボでは、社会保険労務士事務所のお客様向けに、給与、勤怠、労務手続き関連のクラウドツール導入のお手伝いをしております。

クラウドツールをお客様に提案、導入してみたいけれど経験がなく不安な事務所様、手が足りない事務所様はお気軽にお声がけください。

株式会社ナレッジラボ　執行役員　税理士

高木 健太郎 氏

上場企業２社にて経理実務を経験。
現在は株式会社ナレッジラボにて、会計事務所や社会保険労務士事務所向けの「クラウドサポート」をご提供。
クラウド導入に関するセミナー講師経験も多数あり。

株式会社ナレッジラボ

「日本中の中小企業の経営インフラを変えていく」をミッションに、会社組織に応じたクラウドツールの選定、導入、運用サポートを行い圧倒的な業務効率化を実現する自社サービス「クラウドサポート」を提供。会計事務所、社会保険労務士事務所向けのクラウド活用セミナーも定期的に実施中。また、MFクラウド会計からデータを取り込むだけで、経営判断に必要なデータが簡単に手に入るクラウド型の経営分析アプリ「Manageee」を自社開発し提供している。

会社名	株式会社ナレッジラボ
代表者	代表取締役　国見 英嗣（公認会計士・税理士）
社員数	15名（グループ全体）
所在地	〒530-0047　大阪市北区西天満 4-10-5　H.C.S. 西天満ビル 6F
TEL	06-6809-7072
お問い合わせ	contact@knowledgelabo.com

働き方改革コラム

会社と社員の信用が作る『ノマド革命』

2016年7月1日、上場企業のグループ会社からEBOで独立したシックス・アパート株式会社。
どこの資本グループにも属さない独立独歩の会社として再びスタートを切る中で、重視したことがある。
それは、“働き方改革”である。仕事も含めた、社員一人ひとりの生活をより価値あるものにするために
考えられた働き方改革、「SAWS」(シックス・アパート・ワーキングスタイル)を導入した。
具体的にどのような対策を行ったか、シックス・アパート株式会社の作村裕史様にお話を伺った。

自由で幸福なワークスタイルに

Q.「SAWS」について教えてください

「SAWS」とは、シックス・アパートの働き方改革です。EBO(エンプロイー・バイアウト、従業員買収)で組織がスリムになったので、自分たちらしい働き方を改めて作ってみようと思ったのがスタートのきっかけです。私たちは、一人ひとりに合った幸せに働きつづけることができる方法を考え、実践し、その内容をオンライン・オフラインで発信しています。ネーミングは「Six Apart Working Style」の頭文字を取りました。

仕事をするということは本来、出社してデスクに向かうことではなく、業務を進めることそのものを言います。業務ツールやコミュニケーションの多くにクラウドサービスを活用する当社の場合、ほとんどの社員は自身の業務を進めるためにオフィスにいることが必須ではありません。そのため、社員は自宅、近所のコワーキングスペース、シェアオフィス、カフェなど自由な場所で働いており、時間の使い方も自由です。

Q. 改革を生んだ秘訣を教えてください

会社は各社員のことを、チーム内での自身の役割を理解し、自律的に自分の働き方を作れる人であると信用しています。私たちのいう信用とは、一緒に仕事をしていく中で積み重ねてきた信用(クレジット)のことで、性善説にもとづく信用ではありません。各社員は、自分とチームにとってやりやすい方法を考えながら働いています。結果的に、朝ランニングして通勤ラッシュが終わってから出社する、仕事を早めに終えて趣味や家事を行なってから夜に残りの作業をするなど、場所や時間を細かく決めない、自由かつ幸福度の高い働き方となりました。

立替経費精算にAmazonギフト券!?

Q. 手間・費用を含めたコストを削減するために、貴社が行なった施策を教えてください

自由な働き方が実現した一方で、テレワークを実践するために、新規で発生するコストの立替経費申請そのものをなくす取り組みを行いました。コワーキングスペース、自宅労働の際の光熱費などの予算を、事前に手当として全社員一律で給料の一部として支給します。

この手当の使途は会社に申請する必要はなく、自由に使うことができます。手当に自費を上乗せしてモニターを買って仕事環境を整えるのも良いですし、たまには環境を変えて旅先で働いてみたり、仕事を終えた後は手当を使ってグリーン車で読書して帰るなど、社員が思い思いの使い方をしています。よく「思い切った制度ですね」と言われることが多いですが、まずは実践してみたという感じです(笑)。仮に検討に検討を重ねて制度を作ったとしても、現実は想定外のことに溢れており実用的でなかったりします。それよりもある程度成り行きに任せとりあえず始めてみて、ここが良かったなどの新しい発見を返してもらう方が、効率的な制度構築になると考えています。

Q.「SAWS」導入後、コストの削減に効果はありましたか

以前より1/4の面積のオフィスへの移転とともに、全社員のテレワークを開始しました。賃料は当然のことながら、電気代も大幅に削減できています。さらに、社員の定期代も廃止し、出社した日の交通費だけを支給するように変えました。もちろん業務外出の交通費は、別途支給しています。定期代の廃止も結構なコスト削減になりましたね。

Q. 手当の金額はどの程度ですか?

毎日数回カフェを利用できるくらいの金額です。数ヶ月分を貯めて、コワーキングスペースへの移動に使う自転車を買った社員もいましたね。

Q. 立替経費の支払いにめずらしい方法を使われているそうですね

さまざまな手段を検討した中で、現時点で最も有効なのが、手数料不要かつメール送付できるAmazonギフト券での精算です。数百円の精算を銀行振込すると、同じくらいの手数料がかかりますし、手渡しで支払う場合でも、そのためだけに社員は出社しなくてはなりません。会社と社員両方にとって一番無駄のない支払い方法を考えた結果が、Amazonギフト券でした。

実際に希望者を募って実施してみたところ、思ったよりも多くの社員がギフト券を選びました。「ギフト券発行に手数料がかからない」「相手のAmazonアカウントを知らなくてもメールで送れる」などたくさんのメリットがあります。IT業界に限らずとも、小口現金の管理や振込手数料で悩んでいる経理の方に、Amazonギフト券での立替経費精算も選択肢にあるとお勧めしたいです。

働き方改革の一つのロールモデルとして

Q. 将来的にやっていきたいと考えている取り組みはありますか

立替経費の精算で価格変動リスクはありますがBitcoin(仮想通貨)による支払いをやってみたいという気持ちがあります。こちらもやはり手数料がかからないのが魅力です。多少の価格変動があっても、社員が任意のタイミングで円に両替するなど、話題としても実務的にも面白い取り組みだと思います。既存の制度や常識のしがらみで、メリットある面白い取り組みを行わないのはもったいないので、今後も新しい取り組みをどんどんやっていきたいです。

Q. 今後の挑戦を教えてください

働き方を日本全体が問題視している中で、当社が一つのロールモデルとなってこれからの働き方を提案していきたいです。また、それに付随して、新しいマーケットを作ることができるのではないかと考えています。

シックス・アパート株式会社

2001年に米国サンフランシスコで創業した、インターネットのビジネス利用を促進する製品やサービスを提供する企業です。個人のブログから大規模なコーポレートサイトまで、さまざまなシーンでのウェブサイト構築・運用・管理を支援するCMSプラットフォーム「Movable Type」、高機能CMSを低コストかつメンテナンスフリーなウェブサービス型で提供する「MovableType.net」、企業向けブログサービス「Lekumo(ルクモ)ビジネスブログ」、またスマートフォン向けのエッセイ投稿サイト「ShortNote」を提供しています。

MFクラウド

Money Forward

MFクラウドは、
バックオフィス業務の自動化や大幅な効率化、データに基づく経営判断サポートを目的とした、
事業者向けSaaS型サービスプラットフォームです。

社会保険労務士様におすすめの「MFクラウドシリーズ」

MFクラウド
会計・確定申告

企業の会計業務を
自動化でもっとラクに！

MFクラウド
給与

自動だから迷わない
間違えない、安心できる

MFクラウド
マイナンバー

マイナンバーの収集・管理・破棄を
簡単・安全に

MFクラウド
請求書

企業の請求書業務を
もっとカンタンに

MFクラウド
経費

面倒な経費精算に
かかる時間を1/10に

MFクラウド
ファイナンス

資金調達にかかる手間と時間を
限りなくゼロに

社労士通信
企画・発行 株式会社マネーフォワード 〒108-0014 東京都港区芝5-33-1 森永プラザビル本館 17階

社労士事務所様向けセミナーのご案内

マネーフォワードでは、社会保険労務士事務所様に役立つセミナーを開催しております。
通常有料のセミナーが当社開催により無料でご招待できるものもございます。この機会にぜひご参加ください。

働き方改革及び最新実務を踏まえた長時間労働に伴う五大リスクと労働時間管理

参加費 無料

東京 A
開催日時 2月9日（金）15:00～17:00　定員 25名様　参加費 無料
開催場所 ビジョンセンター田町408　東京都港区芝5-31-19 オーエックス田町ビル4階

近年、働き方改革等の影響により、長時間労働に関する問題が大きくクローズアップされており、労働時間管理について、急速な対応の変化が求められています。
長時間労働によるリスクには、残業代請求をはじめ、メンタル疾患、過労死などの労災、行政による監督指導・公表、罰則、風評被害等、様々なものがあります。
これらのリスクの分析、及びリスクへ対応するための労働時間管理の方法、また実際に残業代請求をされた場合の対応方法（任意交渉、労働審判、訴訟、ユニオン対応）について、働き方改革の動向や最新実務を踏まえ解説いたします。

社若（かきつばた）経営法律事務所 弁護士　瀬戸 賀司 氏
北海道出身。中央大学法学部卒業。慶應義塾大学法科大学院卒業。訴訟、労働審判、労働委員会等あらゆる労働事件の使用者側の代理人を務めるとともに、労働組合対応として数多くの団体交渉にも立ち会う。著作に「人事労務管理の視点から見るネット上の誹謗中傷対策」ビジネスガイド2017年8月号ほか多数。

＜4年で200社＞IT活用した急成長の秘訣を大公開！ オンラインとオフラインの間をいく“今”と“これから”に適する事務所経営とは

参加費 無料

大阪 B
開催日時 2月19日（月）14:00～16:30　定員 30名様　参加費 無料
開催場所 株式会社エフアンドエム大阪本社 セミナールーム　吹田市江坂町1-23-38 F&Mビル

東京 C
開催日時 2月26日（月）14:00～16:30　定員 40名様　参加費 無料
開催場所 株式会社エフアンドエム東京本社 セミナールーム　東京都中央区京橋1-2-5 京橋TDビル6F

社労士業界におけるITの進化は今後の業務にどのような変化をもたらすのでしょうか。
「業務効率化」といわれていますが、正しい活用や事務所と顧問先にあった運用をしなければ、業務効率を実感することはなかなか難しいのも事実です。
本セミナーでは4年間で200社の顧問契約実績があり、所内の働き方改革に成功している社会保険労務士法人クラシコの代表 柴垣氏が登壇します。

【1部】ITの最大活用で事務所の効率化と差別化を生み出す経営法

手続き業務だけで顧問料をいただく時代は近い将来終わります。付加価値業務を展開するには給与データの活用が不可欠です。ITによるデータ蓄積とその活用を、今後の事務所の方向性とともにご紹介いたします。また、ITツールの活用により「退職率5%・ノー残業」に成功している理由について大公開いたします。

社会保険労務士法人クラシコ 代表　柴垣 和也 氏
昭和59年大阪府生まれ。人材派遣会社で、営業、所長（岡山・大阪）を歴任、新店舗の立ち上げも手がけるなど活躍。企業の抱える人事・労務面を土台から支援したいと、社会保険労務士として開業登録。開業2年目で売上2,500万円を達成、その後も年率200%成長させている手腕に注目が集まる。

【2部】社労士業界における近未来型ビジネスモデル構築法

株式会社エフアンドエム

ITの急速な進化に伴い、ITを活用する社労士事務所の選択肢は増える一方です。それは同時に顧問先企業にも新たな選択肢が提示されているとも言えます。
時代が急速に進化を遂げていく中で、社労士事務所が今後取るべき「確かな選択」とはどのようなものなのでしょうか。
クラウド型電子申請システムの「オフィスステーション」が、「オフィスステーション」だからこそ実現可能な最新のビジネスモデル構築法をご提案いたします。

【3部】クラウド化が進む士業業界／「MFクラウド給与」実例

株式会社マネーフォワード

弊社にてFAX受領後、確認のメールをmf-event@moneyforward.co.jpよりお送りしております。メールアドレスにお間違いがないかご確認の上、お申込みください
FAX送信後、2営業日を過ぎても弊社からのメールが届かない場合は、恐れ入りますが、mf-event@moneyforward.co.jpまでご連絡くださいますよう、お願いいたします。

下記の必要事項すべてをご記入の上、FAXにてお申込みください

FAX **03-3451-0781**

株式会社マネーフォワード
「社労士通信」宛

ご希望の会場にチェックをつけてください（複数可）	☐ A 東京 2/9（金）　☐ B 大阪 2/19（月）　☐ C 東京 2/26（月）				
貴事務所名		電話番号			
参加者名（代表者）		参加者名		参加者名	
E-mail	@				

Money Forward

株式会社マネーフォワード
東京都港区芝5-33-1 森永プラザビル本館17F

マネーフォワード
https://corp.moneyforward.com

ご記入いただきました個人情報は、当社や当社の製品・セミナーのご案内、お客様からの問い合わせ対応、サービス改善のために利用いたします。お申込みの際は、当社（https://moneyforward.com/privacy）の個人情報保護方針・個人情報の取扱について、同意いただいた上でお申込みください。本件に関するお問い合わせは、mf-event@moneyforward.co.jpへお願いいたします。

【個人情報の取扱いについて】
株式会社マネーフォワードでは、皆様のお役に立つ、当社もしくは当社関連のご案内を差し上げるために個人情報を利用させていただいております。当社では以下の内容にて個人情報を取扱い致します。
□事業者の名称：株式会社マネーフォワード□個人情報保護管理者：CISO　連絡先：https://moneyforward.com/feedback/new □個人情報の利用目的：当社もしくは当社関連の情報をDM、電話、FAX等でご案内するため。お問い合わせに対応するため。上記に関わる連絡手続き等のため□個人情報の第三者提供について：ご本人の同意がある場合または法令に基づく場合を除き、個人情報は第三者に提供しません。□個人情報の委託について：当社は利用目的の達成に必要な範囲内において個人情報の取り扱いの全部または一部を委託する場合があります。□開示等の求めに応じる手続きについて：開示対象個人情報につきましては、開示対象個人情報のご本人またはその代理人からの利用目的の通知、開示、訂正等（内容の訂正、追加又は削除）、利用停止等（利用の停止、消去）の請求がなされた場合、その求めに応じて合理的な範囲内で対応させていただいております。問い合わせ窓口までご連絡ください。（問い合わせ窓口：https://moneyforward.com/feedback/new）□事務所情報の取得方法について：・直接交換しました名刺・当社への各種申込み・WEB等の公表されている事務所情報・公開された各種名簿類の事務所情報・各種書籍・新聞・雑誌類等で公表されている事務所情報・データベース事業者保有の事務所情報

大人気講師の特別セミナーを東京・大阪で開催！！ 会計事務所様向けの内容となりますが、社会保険労務士事務所様もご参加いただけます

会計事務所の生産性の低さの本質は、会計ソフトの外の業務フローにある

MFクラウド会計の外からクラウド化して業務効率化。 中規模以上の会計事務所に効果絶大！

ワンクリックオペレーションのススメ。

東京

A 2月6日（火） 13:00～15:30　B 2月6日（火） 16:00～18:30

【会場】森永プラザビル本館 23階 会議室E　東京都港区芝 5-33-1　【定員】30名

大阪

C 2月7日（水） 13:00～15:30　D 2月7日（水） 16:00～18:30

【会場】イオンコンパス大阪駅前 RoomE　大阪市北区梅田 1-2-2 大阪駅前第2ビル 15階　【定員】30名

【参加費】30,000円　※参加特典：廣升健生税理士事務所セミナー動画「ワンクリックオペレーションのススメ」（販売価格 30,000円）

【懇親会】18:30～20:30（東京・大阪ともにセミナー会場近隣を予定）　※懇親会費 5,000円（当日お支払いください）

【備考】13時・16時ともにセミナー内容は同じです。16時の回終了後に懇親会を予定しております。13時の回参加者様も懇親会にご参加いただけます。

1部 ワンクリックオペレーションのススメ。 | 40分

なぜ会計事務所の業務は紙を中心としたものなのか？からワンクリックオペレーションの仕組みの説明、そして活用方法などの説明をさせていただきます。

廣升健生税理士事務所　廣升 健生 氏

1978年東京都品川区西大井生まれ。元代官山の老舗洋菓子店シェ・リュイのパン職人という異色の税理士。大原簿記学校の税理士科講師（法人税法）を3年、税務コンサルティングファーム、赤坂の税理士法人渡邊芳樹事務所で6年間の実務経験。税理士法人では、主に法人を中心に中小企業の税務サポートから上場企業の合併、会社分割等の組織再編、グループ会社での連結納税等の特殊税務、スキーム構築を担当。2013年1月に廣升健生税理士事務所を開業。フリーランスやスモールビジネスの業務効率化を推進している。

2部 【実演】記帳業務を自動化できる「STREAMED」とは | 30分

ワンクリックオペレーションで業務プロセスのペーパーレス化が出来なかった紙資料のデジタル化の方法として「STREAMED」（ストリームド）を紹介します。「STREAMED」は領収書や請求書などをスキャンするだけで1営業日以内に会計データに変換できる、経理の記帳業務の自動化に特化したソフトウェアです。本セミナーでは、実演を通してSTREAMEDのスキャンの手軽さをお見せいたします。ご期待ください。

株式会社クラビス 取締役CFO　竹田 正信 氏

早稲田大学卒。株式会社マクロミルにて、インターネットリサーチの黎明期から、セールス、事業企画、経営管理部門等多岐にわたる業務に従事し、2008年取締役。総合マーケティング企業へと発展した同社の経営企画部門を主に管掌し、企業統合や新規事業開発を主導。 2016年より株式会社クラビスに参画し、マーケティングおよびコーポレート部門を担当。

3部 【対談】税理士法人アクセス 鈴木氏・米本氏 × 廣升健生税理士事務所 廣升氏 | 60分

税理士法人アクセスと廣升健生税理士事務所では、現在「会計業界クラウド働き方改革 2.0」という、共同プロジェクトを行っています。このプロジェクトは、ワンクリックオペレーションなどの廣升健生税理士事務所のクラウドツールやクラウド会計を活用した業務効率化ノウハウを、事務所全体の業務効率化を行うプロジェクトです。
すでに1人あたり毎日20分の時短になっているとの事で、対談では、取り組みを行っている今だからこその生の声をお伝えいただきます。何から手をつければいいのか。職員の反発などはないのか。日々の業務な中でどの様な変化があったのか。などリアルな声をぜひお聞きください。

税理士法人アクセス 代表　鈴木 浩文 氏

1970年静岡県生まれ。1995年関西大学経済学部卒業。幅広い業種の財務・税務顧問として企業の財務・税務コンサルティングを行っている。資金繰り・経営計画書の策定、M&Aや企業再生を得意とする。現在は、財務・税務のみならず、飲食チェーンの監査役や出版社・自動車教習所の社外取締役として経営実務にも携わっている。

弊社にてFAX受領後、参加費の振込方法をmf-event@moneyforward.co.jpよりメールにてお送りしております。メールアドレスにお間違いがないかご確認の上、お申込みください
FAX送信後、2営業日を過ぎても弊社からのメールが届かない場合は、恐れ入りますが、mf-event@moneyforward.co.jpまでご連絡くださいますよう、お願いいたします。

下記の必要事項すべてをご記入の上、FAXにてお申込みください

FAX **03-3451-0781**　株式会社マネーフォワード「社労士通信」宛

参加会場	□A東京 2/6(火) 13:00　□B東京 2/6(火) 16:00　□C大阪 2/7(水) 13:00　□D大阪 2/7(水) 16:00				
貴事務所名			電話番号		
参加者名（代表者）		参加者名		参加者名	
E-mail	@				

Money Forward　株式会社マネーフォワード
東京都港区芝 5-33-1 森永プラザビル本館 17F
マネーフォワード
https://corp.moneyforward.com

ご記入いただきました個人情報は、当社や当社の製品・セミナーのご案内、お客様からの問い合わせ対応、サービス改善のために利用いたします。お申込みの際は、当社（https://moneyforward.com/privacy）の個人情報保護方針・個人情報の取扱について、同意いただいた上でお申込みください。本件に関するお問い合わせは、mf-event@moneyforward.co.jpへお願いいたします。